

第1回
ニューズレター

道の駅「ひなの里かつら」周辺公園整備
検討委員会

令和7年
7月9日(水)
19:00~20:30
会場:レヴィタかつら



主催:勝浦町総務防災課 受託者:株式会社スバル設計

[参加者 22名]

公園整備計画の目的

町のシンボル「ひなの里かつら」を中心に、町民も観光客も楽しめる“にぎわいの拠点”をつくることを目指しています。



■ 地域資源の活用

恐竜・みかん・ひな祭り・桜といった勝浦ならではの魅力を公園に反映。

■ 日常利用と観光の両立

町民が日常的に散歩や交流に使い、休日は観光を迎え入れる場に。

■ 防災機能の強化

災害時の避難場所・防災拠点としても利用できる安全な公園を整備。

公園計画における主な目的と方針について検討し、主要な機能や施設についての意見交換を行いました。

策定委員会の概要【4回開催】 ①7月9日 ②8月25日 ③9月30日 ④11月上旬

主な意見

テーマ	内容	参加者の声
駐車場	大型車対応、RVパーク、自転車	「大型車が入れるように」 「キャンピングカーでも来られるようにしたい」 「自転車の空気入れがあると便利」
地域資源の活用	恐竜、みかん、ひな祭りなどの地域資源PR 体験施設、桜の多品种植栽	「勝浦らしさをもっと全面に出したい」 「恐竜をテーマにした体験施設があると面白い」 「桜をシンボルに」
防災・安全対策	洪水時の避難場所、防災倉庫、屋根付き施設、コンセント、水道設置	「災害時に使える設備が必要」 「手押しポンプなど電気がなくても使えるのがあると安心」 「水害対策を」
利用者ニーズ	子ども向け遊具、高齢者の散歩道、若者向け体験、インクルーシブ設計	「子どもが安全に遊べる場所が欲しい」 「遊びながら学べる」 「高齢者も気軽に来られるようにしたい」
飲食・交流	飲食スペース、マルシェ広場、多目的活動施設	「道の駅で買ったものをその場で食べられると便利」 「イベントができる広場があると地域が盛り上がる」



■カードの凡例:【ピンク】項目、【黄色】区分、【緑】参加者の意見 ■文字色凡例:【黒】参加者の記述、【茶】参加者の発言

今後の展望と課題

✅ 想定される機能

- ・散策、ウォーキングコース
- ・噴水、水辺空間
- ・Wi-Fi 整備
- ・飲食、体験施設 (あずま屋など)

⚠️ 懸念点

- ・洪水時の安全性
- ・内容の詰め込みすぎによる中途半端さ
- ・維持管理の責任所在
- ・暑さ対策

📄 図表案

- ・ゾーン別機能配置図
(公園ゾーン、広場ゾーンなど)
- ・利用者層マップ
(平日・休日・観光客など)

この整備計画は「町民の日常の場」と「観光・交流の拠点」を兼ね備えた新しい公園づくりです。

今後も話し合いを重ねながら、町民の方々とともに形にしていきます。

お問い合わせ先:勝浦町総務防災課 電話 0885-42-2511